

Press Release

July 1, 2021 | ID: 21-V033

ボルボ・カーズ、ソフトウェア開発を内製化し、 将来のボルボ車に独自のボルボ・オペレーティング・システムを採用

本プレスリリースは、6月30日スウェーデン本社発の翻訳版です

ボルボ・カーズは、従来の自動車が備えていた機能や特徴ではなく、ソフトウェアによる機能や特徴が車の魅力をより決定づけるようになると考え、ソフトウェア開発を社内で行うことにしました。

次世代の電気自動車専用の技術ベースを用いた最初の SUV 電気自動車は、ボルボ・カーズ独自の OS (オペレーティング・システム)である VolvoCars.OS で動作し、より迅速で柔軟な開発が可能になります。またお客様が所有する車は乗り続ける限り、より頻繁に OTA(無線アップデート)が行われることで、日々より良いものになります。

VolvoCars.OS は、ボルボの電気自動車のための包括的なシステムとして機能します。VolvoCars.OS は、車両とクラウドにまたがるボルボのさまざまな OS を統合し、1つのまとまったソフトウェア OS 環境を構築します。さまざまな OS には、Android Automotive OS、QNX、AUTOSAR、Linux が含まれます。

VolvoCars.OS は、先に発表された Extended Vehicle API(アプリケーション・プログラミング・インターフェース)を含む様々な API を通じて、お客様の同意を得た上で、車両センサーデータなどの車内機能やユーザーインターフェース、フリートデータなどのクラウドベースの機能へのアクセスを開発者に提供します。これにより、開発者はボルボ車向けの新しいサービスやアプリケーションを作ることができます。

最高技術責任者のヘンリック・グリーンは「ソフトウェアを自社開発することで開発スピードを上げ、お客様のボルボを今よりも早く改善することができます。スマートフォンやパソコンと同じように、新しいソフトウェアや機能を OTA で迅速に提供することができ、時間の経過とともに、お客様のボルボをより良く、より楽しくすることができます」と述べています。

ボルボ・カーズは、ソフトウェアの自社開発のメリットを最大限に生かすため、電気自動車内のコンピューティングをコアシステムに集中させ、多くの複雑さを排除しています。個々の機能やシステムを制御する車内の複数の電子制御ユニットに頼るのではなく、社内で開発したソフトウェアを車内の強力なコア・コンピューティング・システムで実行することが増えていきます。

2022年に発表されるボルボの新モデルに初めて搭載されるコア・コンピューティング・システムは、3つのメイン・コンピュータで構成されています。これらは、ビジョン処理と人工知能、一般的なコンピューティング、エンターテインメントをそれぞれ実行する際に、互いにサポートし合います。

ボルボ・カーズは、コア・コンピューティングへの移行により、ハードウェアをソフトウェアから徐々に分離して

いきます。これは、ハードウェアの入れ替えをより頻繁に実行できることを意味し、ボルボの新型車により最新のハードウェアを搭載できるようになります。

ボルボ・カーズは、自社開発とコア・コンピューティングへの移行を、主要なテクノロジー企業と協力して進めています。その中には、コアシステムの開発に協力している NVIDIA(エヌビディア)や、インフォテインメントシステムの共同開発パートナーである Google(グーグル)などが含まれています。

ヘンリック・グリーンは「私たちは、必要のあるところで、真の技術リーダーと提携するという意図的な戦略を持っています。Google は、Google マップから Google アシスタントに至るまで、ユーザー・エクスペリエンスとサービスにおいて真のリーダーであり、一方、NVIDIA は、最速かつ最高のコンピューティングへのアクセスを提供してくれています。このように、戦略的パートナーシップを選択するアプローチは、すべてを自力でやろうとするよりも遥かに効果的です」と述べています。

ボルボ・カーズがそれぞれのテクノロジー・リーダーとのコラボレーションを成功させ、顧客に最高のユーザー・エクスペリエンスを提供することは、オープン API を通じてサードパーティのイノベーションに VolvoCars.OS を開放するという決断の原動力にもなっています。

本日の発表は、第 1 回 Volvo Cars Tech Moment と連動しています。このイベントは、[こちら](#)からライブオンデマンドでご覧いただけます。

2020 年のボルボ・カー・グループ

2020 年度のボルボ・カー・グループの営業利益は 85 億 SEK(スウェーデン・クローナ)(2019 年度は 143 億 SEK)を記録しました。売上高は 2,628 億 SEK(前年 2,741 SEK)に達しました。2020 年通年の世界販売台数は 661,713 台(705,452 台)で、2019 年と比較して 6.2%の減少となりました。

ボルボ・カー・グループについて

ボルボ・カーズは、1927 年に創業した高級自動車ブランドの一つで、2020 年には約 100 カ国で 66 万 1713 台を販売しています。2020 年 12 月現在、ボルボ・カーズの正社員は約 40,000 人(前年 41,500 人)で、ボルボ・カーズの本社、商品開発、マーケティング、管理機能は主にスウェーデンのイエーテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエーテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフトローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。

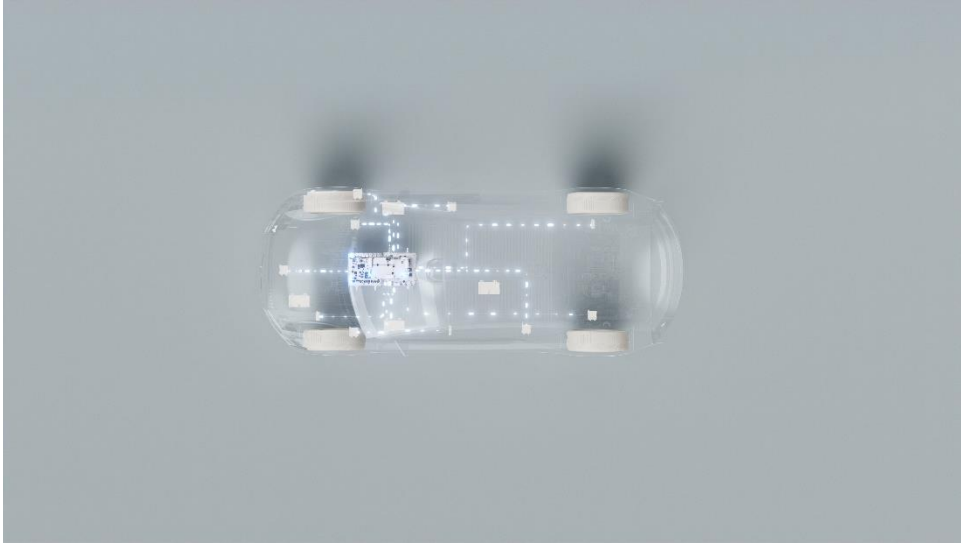
ボルボ・カーズは、企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後 5 年間で電気自動車の世界販売台数を 50%にし、500 万人のお客様とのダイレクトコンシューマービジネスの確立を目指しています。また、ボルボ・カーズは 2040 年までにクライメート・ニュートラルを実現することを目指し、CO₂ 排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン 広報

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited